



## 心電図所見

- ◆ 1度房室ブロック
- ◆ QRS幅延長
- ◆ テント状T波

## ポイント

腎機能障害患者の高カリウム血症例の心電図を示す。胸部誘導での高い尖鋭化したT波(テント状T波)、PQ間隔0.31秒と延長、R波の減高、QRS間隔0.164と延長が見られる点がポイントである。本例は、血清K値が7.9mmol/Lに増加した薬物(降圧剤)による腎機能障害の心電図であり、T波がV<sub>3</sub>～V<sub>5</sub>で高く先鋭化している。

## 臨床心電図診断

高カリウム血症、左軸偏位

## 鑑別診断

急性心筋梗塞側壁、左脚ブロック、左軸偏位

## 臨床対応

高カリウム血症では、テント状T波が早期に出現するので見逃さない。心停止や心室細動が見られる例があるので、利尿促進、イオン交換樹脂を開始し、カルシウム薬、重炭酸ナトリウムの投与、緊急一時ペーシングの準備を行い、ブドウ糖・インスリン療法を行う。なお、本症例では、元来左軸偏位であったこの心電図後、ふらつき、洞停止が見られたため、緊急一時ペーシングを行った。